

## 親日国トルコ共和国における

# 日本文学・日本文化研究および教育の過去と現在

講師：**エルデミール・アリ・ヴォルカン**

(トルコ・エルジェス大学准教授)



1999年東京外国語大学短期留学を経て、2000年アンカラ大学日本語日本文学科卒業。2004年京都大学人間・環境学研究科修士課程、2007年同研究科博士課程修了。2008年よりトルコ・エルジェス大学文学部日本語日本文学科助教授。2012年より、同学科准教授。

**日時：2013年10月24日（木）**

**18:15～19:30 講演会**

※講演は日本語で行われます

**19:40～20:40 懇親会**

**場所：人環棟 333演習室**

私が日本語を学び始めたのは1995年のことです。当時のトルコでは、日土・土日辞典や漢字辞典などは初歩的なものしかなく、日本文学作品は英語や仏語などから翻訳されたいわゆる「重訳」ばかりで、分かりにくいところが多々ありました。

このような状況は少しずつですが改善され、現在、日本語教育をはじめ、歴史、文学、文化など多岐にわたる分野での研究がトルコ人日本学専門家によって行われています。私が専門とする文学においては、2003年以降、40点を超える日本文学作品が日本語から直接翻訳・出版され、夏目漱石から村上春樹まで日本の著名な作家の作品が読まれています。

一般市民の間でも日本への興味・関心が高まりつつあり、日本学分野の研究者も増えてきました。近い将来、トルコ人日本学専門家のいっそうの国際的な活躍が期待されます。

本セミナーでは、こうしたトルコにおける日本文学と日本文化の研究および教育の状況について、私自身の経験に基づきながら、お話ししたいと思います。

人間・環境学研究科の客員准教授によるセミナーです。専門の異なる院生・教員の皆さんも奮ってご参加ください。懇親会のみ参加も歓迎します。

主催：人環国際交流委員会

問合せ：国際交流委員・留学生アドバイザー

藤田 (fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp)